


## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	フィールド	事業所番号	3310103563
住 所	岡山市北区大元 2 丁目 4-17	管理者名	水子 雅雄
電話番号	086-250-5401	対象年度	令和 5 年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>施設外先の企業等と連携し、請け負っている生産活動以外に関する仕事に関する研修を行った。</p> <p>活動場所：株式会社サピックス 第 2 リサイクルプラザ（岡山県産業物中間処分場）</p> <p>実施日程：3 月 1 日、3 月 11 日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 一般廃棄物（ペットボトル、金属、木くず等）の分別作業を企業で一般社員とともに作業することを通し、一般就労の体験をする。</p> <p>利用者数：5 人</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい： 一般就労を想定し、企業の一般職員の中で体験し、一般就労に必要なコミュニケーション能力やマナーを学ぶ。作業をスムーズに進めるための報告・連絡・相談を意識して作業を行う等目的を持って取り組む。</p> <p>利用者にとってのメリット：これまで携わったことがない作業に取り組むことで自分の強みの発見に繋がった。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果：実際の現場で体験を積み重ねることで利用者の持つ一般就労への不安や抵抗感を緩和出来ると感じた。</p> <p>得られた成果：実習前は緊張が見られたが、実際に経験してみると利用者が自分にもできるという実感を持てた。</p> <p>課題点：一般就労や新しい作業などに不安をもちチャレンジすることに抵抗を持つ利用者が多い。</p> <p>利用者に合わせて体験場面や目標設定を検討し機会を設定する必要がある。</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  <p>3/1 作業研修前の事前講習を行いました。</p> <p>産業廃棄物とは何か、中間処分場でどのような作業が行なわれるのかを学びました。</p> <p>廃棄物の種類により、選別・粉碎・焼却・溶融などの処理があることがわかりました。後日の選別作業実習に備え、分からないことを質問するなどロールプレイを行いました。</p> <p>3/11 中間処分のうち、選別作業の研修をさせていただきました。事前講習は、耳慣れない言葉も多く、利用者には戸惑いが見えました。実際に作業をやることで目でみて体験したことで各自学ぶ点があったようでした。（自分にもできそうだと感じた点、苦手だなどと思う点等感じる事が出来たようでした。）</p>
--	---

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価：</p> <p>作業態度は、まじめでコツコツと作業に取り組んでいました。</p> <p>作業スピードが、もう少し早ければ助かります。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題：</p> <p>慌てず正確に作業をこなす、作業スピードをあげるなど現場全体の作業効率や進捗に貢献できると一般就労へ近づけると思います。</p>	
連携先企業（担当者）	株式会社サピックス 常務取締役 佐々木和明

## 利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <p>Mさん：気を付けることが多く、間違えたりやり直したりしたため、作業に時間がかかった。 他の職員さんとうまく話すことができず、うまく話せるようにしていきたいと思った。</p> <p>Kさん：慣れない人や場所で緊張した。やってみると不安が少しなくなった。</p>
---